

ぼくは、犬がだいすき。
近所の犬たちとはみんな友だちだし、
犬とくれば、なんだって集めちゃう。
シールに切手、クッキーのかんに、くつ下、バッジ。



ぬいぐるみだって、たくさん持っている。
とくにお気に入りには、この犬。パルっていうんだ。



Alicekan

でも、頭をなでてもしっぽをふらないし、
さんぽもできない。
パルのことはだいすきだけど、パルはほんものの犬じゃない。

ある日のばんごはん。おもいきっていった。

「お父さん、お母さん、ぼく、犬がほしいんだ」

「犬？」

お父さんが、なんていうのかドキドキした。

「うん、ずっと前から考えていたんだ。」

そのために、いろんなじゅんぴもしてきたんだよ」

「犬かあ。うーん、そうだなあ」





犬がほしい

スギヤマカナヨ

やっぱり

Alicekan



9784752010746



1928093015000



アリス館

ISBN978-4-7520-1074-6 C8093 ¥1500E 定価 (本体 1,500円+税)



パルとくらしてみても、わかったことがある。
ぼくとパルの時間は、
ぜんぜんちがうってこと。
ぼくが大きくなっていくあいだに
パルはどんどん年をとっていった。



AliceKan



でもパルは元気だったし、
まだまだずっと元気だって、
自分にいいきかせてきた。